

第1学年 図画工作科

教科目標

- ① 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- ② 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにします。
- ③ 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	○ すきなもの なあに	2	・ パスを使いながら、自分の好きなものをかくことを楽しむ。
	○ ねんどで つみき	2	・ いろいろな粘土の形をつくり、積んだり並べたりしながら思い付いたものをつくる。
	○ パスあそび	2	・ パスのいろいろな表現方法を知り、楽しく表現する。
5	○ おしゃれなかいじゅう	6	・ 自分が想像したかいじゅうをかき、パスを使って彩色する楽しさを味わう。
6	○ みんなで かざろう	2	・ はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫して、楽しい飾りをつくる。
	○ すなや つちと なかよし	2	・ 掘ったり、つないだりしながら、好きな形やつくりたいものをつくりだす。
7	○ ドアの むこうに	4	・ ドアのように開く画面の仕組みを生かし、場面が変わる絵を考えてかく。
	○ ならべて つんで	2	・ 身近にある材料を並べたり積んだりしながら、思い付いたり考えたりしたものをつくる。
9	○ かたちから うまれたよ	6	・ 切ったりちぎったりした紙を、並べたり組み合わせたりしながら、楽しく絵に表す。
	○ どうぶつさん だいすき	2	・ お気に入りの動物を、つくり方を工夫しながら粘土で表す。
10	○ かげを うつして	2	・ 身の回りにある影の形の面白さに気付く。
11	○ おはなし だいすき	6	・ 物語の好きな場面を、自分なりに工夫して楽しく絵に表す。
	○ はこの なかまたち	2	・ 箱の組み合わせ方を工夫して、楽しいなかまをつくる。
	○ なにに なるかな	2	・ 落ち葉や身の回りにある材料の形や色に気付き、並べ方を工夫しながら、好きな形をつくる。
12	○ えのぐあそび	6	・ 絵の具道具の名前や、基本的な使い方を知る。
	・ えのぐのつかいかたをしろう ・ えのぐのつかいかたになれよう		・ 絵の具道具の基本的な使い方を復習しながら、彩色の練習をする。
1	○ いろいろ ペッタン	4	・ 身近にある材料・用具、手などを使って、形を写す活動を楽しむ。
	○ ニョキニョキ とびだせ	4	・ 息を吹き込むと膨らむポリ袋の特性を生かして、箱から飛び出す楽しい仕組みの作品をつくる。
2	○ プレゼントを どうぞ	4	・ 紙を折って箱をつくる方法を知り、プレゼントを入れるすてきな箱をつくる。
	○ かんじた こと、おもった こと	4	・ 生活の中から表したいことを見付けて、楽しく絵に表す。
3	○ さくひん入れをつくらう	4	・ 1年間の作品を収めるための袋に、絵をかいたり飾りを付けたりする。
授業時数の合計 68 時間			

図画工作科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
造形への関心・意欲・態度	思いのままに表したり、作品などを見たりしながら、つくりだす喜びを味わおうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 製作中の様子 ・ 準備物 ・ 用具の使い方 ・ 作品を見ての感想など、総合的に評価します。
発想や構想の能力	感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、つくり方などを考えたりしているかどうかという観点から見ます。	
創造的な技能	体全体の感覚を働かせながら材料や用具を使い、工夫して表しているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	身の回りの作品などの形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりしているかどうかという観点から見ます。	